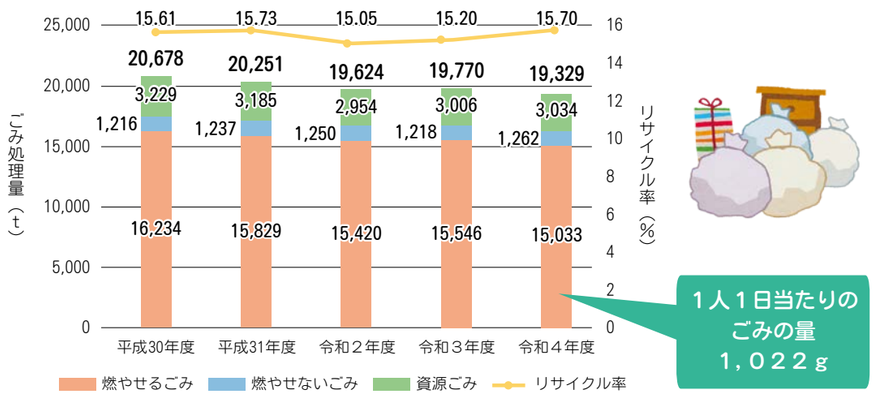
ごみ減量化特集　ごみの減量化に取り組んでみませんか?

市では、６月を「家庭ごみリサイクル推進月間」としています。

ごみを減らすことは、焼却や埋立に伴う環境への負荷を小さくすることにつながります。国連で採択された持続可能な開発目標(SDGs)では目標12に掲げる「つくる責任 つかう責任」の中のターゲットとして廃棄物の管理や削減といった内容が盛り込まれています。この機会に、あらためて家庭内での“ごみ”について、考えてみませんか？

五所川原市のごみの現状



市の人口は減少傾向にありますが、市民１人当たりの１日のごみの量がなかなか減っていないため、当市全体でのごみの排出量は横ばいとなっています。これからは、ごみを適切に分別することはもちろん、**「ごみの量を減らす」という一人ひとりの意識**が重要となります。『３Ｒ行動』や『３つの「きる」』などを日頃から意識して、できることから始めましょう！

ごみの減量と食品ロス

五所川原市の令和４年度の１人１日当たりのごみの量は1,022ｇとなっており、日本全国平均の890ｇ(令和３年度)を上回っている状況です。

この1,022ｇのうち、795ｇが燃やせるごみの量になっています。燃やせるごみにも様々ありますが、食品ロスはまさに燃やせるごみの量に大きく影響しています。

食品ロスとは「本来は食べられるのに捨てられてしまう食品」のことです。国民１人当たりに換算すると、毎日お茶碗１杯分(約114ｇ)が捨てられていることになります。

食品ロスを減らすことは、ごみを減らす第一歩となります。

普段の生活の中ですぐに実践できる食品ロス削減の方法をご紹介します。

買物のときできること

買物前に手持ちの**食材と期限を確認**する。

期限表示を知って賢く買う。

すぐ使う食品は商品棚の手前からとる。

調理のときにできること

食べられる分だけ作る。

無駄なく使う。

余り食材を忘れず使用する。

３Ｒと食品ロス

Reduce　発生の抑制
必要な分を買う
Reuse　有効活用
リメイク料理やシェア等
Recycle　資源循環
燃料や堆肥等への**変換**

外食のときできること

さんまるいちまるうんどう
3010運動を実施する。

（開始30分、終わり10分を食事の時間にあてる）

食べきれる量を注文する。

ごみを減らすためにできること　ごみ減量化特集

市では県と協力して市内の大手食品スーパーに出向き、食品トレーのリサイクルなどの取組を確認しながら「ごみの減量化」や「リサイクル率の向上」に取り組んでいます。

ごみの量は市民の皆さんの行動一つで減らすことができます。

どれも普段の生活でできることですので、ぜひ実践をお願いします。

プラスチックや資源ごみは水で洗い、綺麗にしてから出しましょう！

汚れていると、
リサイクルできません。

＊汚れが落ちないものは**燃やせないごみ**に出してください！

「３つのきる」で食品ロスを減らしましょう！

１．食材を使い**きる**

２．料理は食べ**きる**

３．生ごみは水気を**きる**

雑紙も資源です！リサイクルしましょう！

雑紙は、
家庭ごみ収集カレンダー
☆の日に回収しています。

五所川原市ごみ分別辞典

ごみの分別を五十音順で掲載した「五所川原市ごみ分別辞典」もあります。ぜひご活用ください。

五所川原市 HP「ごみ分別辞典」

問い合わせ先…環境対策課　内線2365